

令和4年度 兵庫県立村岡高等学校 学校評価（内部評価・学校関係者評価）

第3期ひょうご教育創造プラン														
1 「生きる力」を育む教育の推進					2 子どもの学びを支える環境の充実					3 人生100年を通じた学びの推進				
(1) 育成「確かな学力」の	(2) 成「豊かな心」の育	(3) 育「健康な心」の育	(4) 教育「キャリア」の推進	(5) 進「特別支援教育」の推進	(1) 力の向上	(2) 化 学校の組織力の強	(3) 充 実 修 学 環境の整備・	(4) 進 校 と 連 携 した 教育の推	(5) の 学 び と 場 の 充 実 ため	(1) の 学 び と 場 の 充 実 ため	(2) の 活 用	(3) 境 さ ら 一 つ づ くり の 推 進	(4) の 推 進	(5) の 推 進

学校教育方針	目指す学校像	本年度の重点目標
(1) 地域に学び、知識と知恵を身につけ、地域と協働する創造的な人材を育てる	地域の学校	地域での学びをさらに充実させ、地域を支え元気にする人材を育成する
(2) 学校と地域の活動の中で、自律の精神を養い、規範意識と自己統制力を育てる	自ら学ぶ学校	自ら進んで学び、議論・提案できる力を育成する
(3) 学校と地域の活動の中で、豊かな心を培い、敬愛と協調の態度を育てる	こころ豊かな学校	協働的な学びの中で豊かな人間性を育てる

教育指針
人みな使命あり

評価は4点満点。Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、回答した教職員の平均点を評価の数値とした。

評 価 項 目															活動例		R4 評価	R3 評価	評価と改善プラン		学校関係者評価
I 地域と協働した学びの充実、地域と協働する人材の育成																					【今後の方向性について】
															P T A と の 連 携、 地 域 活 動 の 企 画 ・ 実 践	村高祭バザー あいさつ運動	3.0	2.7	感染予防対策に留意しながらPTAと連携した活動ができた。	【今後の方向性について】	
															地元講師・関係機関との連携、地域を学びの場とした地域に密着した探究活動	村高発☆地域元気化プロジェクト	3.3	3.5	多くの外部講師・外部機関の方に関わっていただき、充実した探究活動ができています。引き続き充実したものとした。	過去から地域と連携して事業を積み上げてきた実績は、そう簡単にまねがができるものではないため、今後もこの連携の形は継続するように努めていきたい。	
															地域との協働を基盤とした実践力の育成	マラソン全校スタッフ 集落調査	3.1	3.0	地域の期待が大きく、今後も地域と連携・協働した活動を通して、生徒の主体性に結びつく実践としていきたい。	地域元気化プロジェクトも継続事業が中心となっているため、そろそろいくつかの事業は刷新して、新しい試みを行っていく必要がある。	
															地域課題から創造的に地域と協働する力の醸成	村高フォーラム 町長講演会	3.0	3.0	探究的な学びをとおして新たな問いを見つけ、大学等への学びや将来の職業に活かしたいと考える生徒が出てきている。		
															家庭との連携、豊かな心と健やかな体の育成	朝の健康チェック PTA地区別懇談会	2.8	3.3	PTA地区別懇談会の参加者が少なかった点が残念であった。来年度は実施時期の見直しを行う。	継続事業になっていることで、新しいものを創造する場面の創出機会が提供できていない気もする。	
															【1年】個々の役割を自覚し、責任を持ってやり遂げるよう指導	協働のまちづくり 地域学入門	3.0	3.6	協働のまちづくりにおいては、地域の方や多くの仲間と共に活動した。もっと責任を持ってやり遂げられるという期待からの厳しい評価と考えられる。		
															【2年】地域を正しく理解し、地域に貢献できる生徒の育成	地創系合宿研修 元気体操の普及活動	2.8	3.6	地域の高齢者に村高元気体操の普及活動を行うなど、地域貢献ははっきりできています。地創系は合宿研修で他地域の取組から学び、地域活性化策を考え、深めている段階。3年生では実践に移る。	他校でも地域連携を踏まえた事業展開が増えている中で、差別化をはかっていくためには、生みの苦しみはあると思うが、新しいことへのチャレンジを続けていっていただきたい。	
															【3年】活動での学びを振り返りさせ、進路実現に活かせるよう指導	村高発☆地域元気化プロジェクト	2.8	3.6	地域協働活動を通しての学びを言語化する力をさらに培っていきたい。		
II 確かな学力の定着、主体的な学びと向き合う姿勢																					【学校評価について】
															教科の枠を超えた地域探求の推進	地域探求Ⅰ・Ⅱ 地域スポーツⅠ・Ⅱ	2.9	2.9	学校運営連携協議会などの場をとおして、様々な意見を取り入れながら、新たな問いを見つけ、深めながら活動を深めた。	コロナ、生徒数の減少等様々な要因があると思うが、学校内部評価の数値が下がっていることに対する検証をお願いいたします。	
															I C T 【タブレット活用を含む】の積極的な活用及び授業の工夫・改善	グループワーク 課題（宿題）配信	3.0	3.1	現1年生からタブレットを購入。生徒・保護者共に83%の生徒がタブレットを用いた学習活動に取り組んでいると回答している。	R3年度からR4年度の評価が約70%下がっている。下がった評価項目を見直し、R5年度は同評価もしくは上がるよう希望する。	
															グループワーク（討論）を通しての生徒の自主性、自発性、自律性の涵養	リーダー研修会 教育講演会	2.8	3.3	あらゆる機会をとおしてグループワークが行われている。自発性、自律性の涵養に向けての一層の取組を進めたい。		
															3年間の体験を活かした進路の実現	小論文講座 面接指導	3.0	3.2	探究活動等を通じた学びを志望理由書に落とし込み、面接試験で伝える力は身につけることができた。しかし、情報量や知識量の不足により、小論文で苦労している面が見られる。		
															ひとりひとりに応じた支援の実現に向けた研修	サポート会議 特別支援教育委員会	3.2	3.3	ひとりひとりに対する支援の在り方を教員どうしが真剣に議論しながら前進してきている。来年度はサポート会議の実施時期を見直し、より実効性を高めた取組としたい。	【その他】	
															【1年】基礎学力の定着および主体性を育むための自学自習の習慣化	小テストの実施 課題（宿題）配信	2.9	3.3	小テストの実施や日々の課題を通して地道に取り組んでいるが、学習習慣が身につけていない生徒も見られる。基礎学力の定着に向けて継続して取り組んでいきたい。	コロナ後の教育活動の再構築により、地域と協働した学びが充実していくようお願いいたします。	
															【2年】進路意識の向上と進路目標の明確化を目指した指導	進路ミュージカル 進路相談会	2.9	3.3	進路について考える機会を設けることにより、進路意識は高まりつつある。進路実現に向けてしっかりと立ち向かえる生徒を増やす取組をしたい。		
															【3年】学校行事や授業等で得た知識をもとに、自己の考えを積極的に伝える表現能力の育成	小論文・面接指導 地探Ⅱ・ODS授業	2.9	3.3	自己の考えを明確に伝えられる生徒が多く見られる。しかし、十分な学力の定着に至っていない部分も見られた。より深い学びに繋げた授業や活動としたい。	但馬全体で定員を割っており、ほぼ全員が入学できる状況の中、非常に苦勞されていると感じます。	
III 地域との協働に必要な力の育成																					
															発表活動を通してのプレゼンテーション能力・自己実現能力の育成	村高フォーラム オンライン説明会	3.2	2.8	県外の中学生に対して本校の広報を行うオンライン説明会に積極的に参加する生徒が増えてきており、説明会を重ねることに生徒のプレゼンテーション能力の向上は確実に進んできている。	IIIの地域との協働に必要な力の育成によりいっそう力を入れてもらいたい。	
															各教科でのアクティブ・ラーニングの実践	BYODの活用 グループワーク	3.0	2.6	BYODの活用やグループワークなどの取組を通し、教科の授業でしっかりとアクティブ・ラーニングが取り入れられてきている。		
															生徒が積極的に参加する行事を通じての成就感の体得および協調性の涵養	村高祭 校内マラソン大会	3.3	3.7	行事に向けてほとんどの生徒が真剣に取り組んでおり、成就感の体得に繋がっている。しかし、真面目に取り組むすぎて、マラソン大会ではオーバーワークとなった生徒も見られたところが今後の課題である。		
															グループディスカッション・複数の教員との面談等を通じての多面的に物事を理解し協働する精神の涵養	小論文・面接指導 班別活動	3.0	3.2	取組そのものはできている。多面的な物事の理解にまで至っていない面が見られる。今後の研究が必要である。		
															健全な学校生活を送るための環境づくりの重要性を自覚し、生徒・職員が協力しての清掃美化活動の実施	清掃 トイレ改修	3.1	3.4	トイレ改修により、施設面の充実が図られた。清掃においても、生徒は一生懸命に取り組んでいるが、生徒数の減少により、区域全体を十分に清掃することが難しくなっている。		
															【1年】他人への思いやりを育て、互いを認め理解し助け合える人間関係の育成	集団研修 スキー実習	3.1	3.5	人間関係の構築がうまくできず、苦労している生徒が見られる。相手の立場に立って考えられる生徒をさらに育成していかなければならない。		
															【2年】集団に寄与できる生徒の育成と、互いを認め高め合う人間関係の構築	修学旅行 村高祭	3.0	3.5	集団に寄与できる生徒は確実に育成されている。もっともっと互いに高めあえる集団づくりに努めたい。		
															【3年】様々な活動においてリーダー役として行動できる集団の形成	村高祭 オープン・ハイスクール	3.1	3.5	最高学年としての自覚を持ち、リーダーシップを発揮できる生徒が多かった。しかし、がんばり過ぎてまとまらず、準備の遅れに繋がったこともあった。		